



2019年11月6日

各位

会社名 三菱商事株式会社  
代表者名 代表取締役 社長 垣内 威彦  
(コード:8058、東証第1部)  
問合せ先 広報部 報道チームリーダー  
小沼 晶(03-3210-2171)

剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において2019年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議したと共に、期末配当予想の修正を行うことと致しましたので、下記の通り、お知らせ致します。

記

1. 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年5月9日公表)	前期実績 (2019年3月期第2四半期末)
基準日	2019年9月30日	同左	2018年9月30日
1株当たり配当金	64円	62円	62円
配当金の総額	97,935百万円	—	98,360百万円
効力発生日	2019年12月2日	—	2018年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年5月9日公表)	62円	63円	125円
今回修正予想		68円	132円
当期実績	64円		
前期実績 (2019年3月期)	62円	63円	125円

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の配当は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 理由

当社は、「中期経営戦略2021」において、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を基本方針としております。2019年5月9日開催の当社取締役会決議に基づいた自己株式の取得が順調に進捗し、配当金の支払対象となる株式数が減少していることを踏まえ、1株当たり年間配当予想額を期初見通しの125円から7円増額の132円に修正致しました。また、2020年3月期の中間配当についても、自己株式取得の進捗を踏まえ、1株当たり64円とすることを本日開催の取締役会で決議致しました。

以上